

新富町における高病原性鳥インフルエンザ疑い事例の発生について

令和3年1月30日
畜産新生推進局

1 農場の概要

所在地：児湯郡新富町

飼養状況：採卵鶏 約8万羽

2 発生の経緯

- (1) 本日14時55分、当該農場から宮崎家畜保健衛生所に対し、死亡鶏が増加した旨の通報。
- (2) 宮崎家畜保健衛生所が緊急立入し、飼養鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、17時30分にA型インフルエンザ陽性を確認。
現在、宮崎家畜保健衛生所でPCR検査を実施しており、検査結果は、31日の朝に判明予定。

3 今後の対応

- (1) 緊急的な措置として、PCR検査が終了するまでの間、以下の対応を実施。
 - ① 当該農場からの飼養鶏、物品等の持ち出しの禁止
 - ② 周辺農場の飼養状況の確認及び移動自粛の要請
- (2) 県対策本部班長会議の開催
- (3) 県対策本部会議の開催（書面）
- (4) プレスリリース（第1報）
- (5) 記者会見の開催
- (6) 庁内動員予定者への対応依頼
- (7) 消毒ポイント設置箇所の選定
- (8) 自衛隊への派遣要請準備調整（疑似患畜判定後に正式要請）
- (9) 宮崎家畜保健衛生所におけるPCR検査結果判明
- (10) 農林水産省による疑似患畜の判定、防疫措置の実施
 - ① 発生農場における殺処分開始
 - ② 農場周辺の移動制限（3km内）及び搬出制限区域（3～10km）の設定
 - ③ 消毒ポイントの運営開始